

市ホームページ: <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

◆略字の見方

時=日時・期日	場=場所・会場	内=内容
講=講師	対=対象・資格	定=定員・募集人数
料=料金・参加料	持=持ち物	申=申し込み
問=問い合わせ		
先着=先着順	抽選=申し込み多数の場合は抽選	

注) 函どなたでも、函特になし、無料、不要(直接会場へ)の場合は、記載なし

◆申し込み方法

・電話、ファクス、Eメールの記載がある場合は、その方法で申し込み可
・函は、市ホームページの「イベントカレンダー」「募集情報」で申し込み可

◆庁舎の表記

アオ=アオーレ長岡	市セ=市民センター
大手=大手通庁舎	さい=さいわいプラザ

今月の
おしらせ隊
隊員

かわぐっち

毎号、記事にまつわる話を長岡ゆかりのキャラクターや動物が紹介します。

今回は、川口地域のマスコットキャラクター「かわぐっち」。頭には魚野川のアユをイメージしたすてきな飾りをおなかには魚沼産コシヒカリをまとった川の妖精です。



食、スポーツ、芸術など、イベント盛りだくさん！秋を楽しんでね。

長岡開府400年
ROOTS 400
開府400年イベントに参加しよう

①県内映画上映決定!!～長岡開府400年記念特別展～炎の天狐トチオンガーセブン展

時 9月15日(土)～24日(休)
午前9時～午後5時
場 栃尾文化センター
☎52・2020



トチオンガーは、栃尾のご当地ヒーロー。栃尾の油あげ職人・星狐太郎とキツネの神「トチオンガー」が融合した正義の戦士です。グッズなどで、展示室をいっぱいになります。

将軍家と長岡藩主牧野家の関係などを振り返ります。時 9月15日(土)～11月4日(日)午前9時30分～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで。月曜休館。祝日の場合は翌日) 料 一般1,020円、高校・大学生700円 場 県立歴史博物館 ☎47・6130 担当=政策企画課開府400年記念事業推進室(アオ) ☎39・2395



▶重要文化財 東照社縁起絵巻(日光東照宮)の一部

②長岡市民リレー大茶会

市内の全地域をつなぐ茶会の最終回です。各地域を別ルートで渡ってきた茶碗と花器が一堂に会します。

時 10月7日(日)午前9時～午後3時30分 場 長岡造形大学 函 1席…裏千家、2席…石州流野村派 料 1,000円(2席分) 場 長岡市茶道文化協会事務局(文化振興課さい) ☎32・5110

③長岡開府400年・NST開局50周年記念 県立歴史博物館秋季企画展「徳川の栄華」

―徳川家、日光東照宮、牧野家ゆかりの名品― 国宝・重要文化財を含む約160点を展示。徳川

企画展「徳川の栄華」の観覧券をプレゼントします。

定10人(抽選) 応募資格=市内在住の人(1人1通まで) 応募方法=9月14日(金)(消印有効)までに①郵便番号②住所③氏名④年代(30代など)⑤電話番号⑥市政だよりの感想⑦長岡開府400年に寄せる一言メッセージ(イベントで掲示する場合あり。名前は出しません)をはがき〒940-8501(住所記入不要)広報課(☎39・2202)、Eメールinf-prd@city.nagaoka.lg.jpで ※当選者の発表は、賞品の発送(9月下旬)をもって代えさせていただきます

観覧券を
プレゼント!

260余年の歴史と伝統
勇壮な万燈祭り屋台
与板十五夜まつり

時 9月14日(金)～16日(日) 場 与板地域市街地、都野神社 場 同まつり連絡協議会(与板町商工会内) ☎72・2303 担当=与板支所産業建設課 ☎72・3201

まつり最大の見せ場、「登り屋台」は、15日・16日の午後7時15分から。宝暦7(1757)年ごろから伝わる京造りの屋台が坂を登ります。



★同時開催 与板消防署救急フェア
時 9月15日(土)午後1時30分～4時30分 場 与板町与板国道403号上 内容 心肺蘇生法の体験、AEDの使用法、高規格救急車の展示、起震車体験など 場 与板消防署 ☎72・2572

00円

文化振興課さい

☎32・5110

長岡市美術協会展

時 9月11日(火)～17日(祝)午前10時～午後6時(11日は午後4時まで) 場 中央図書館 函 日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真 場 同協会事務局(文化振興課内) ☎86・6008

ながおか・若者・しごと機構

時 9月22日(土)午後4時～7時 場 エスタグストーザ(東坂之上町2) 対 25歳～39歳の独身男女 定 各18人(先着) 料 男

ナガオカフューリングプロジェクト(婚活イベント)

時 10月3日(水)午前10時～11時30分 講 日本洋蘭農業協同組合北日本支部理事・小原康人さん 定 24人(先着) 料 3,000円 申 9月10日(月)～24日(休)(HPからも可)

庭木の冬囲い

時 10月6日(土)午前10時～11時30分 場 千秋が原ふるさとの森管理事務所前 講 長岡市緑地協会 定 50人(先着) 持 軍手、

花と緑の教室

時 10月3日(水)午前10時～11時30分 講 日本洋蘭農業協同組合北日本支部理事・小原康人さん 定 24人(先着) 料 3,000円(別) 持 筆記用具(10月10日のみ)、エプロン、昼食 申 9月5日(水)～26日(水)

緑花センター(花テラス)

時 10月10日～11月14日の毎週水曜日午前9時30分～午後0時30分(計6回) 10月10日は午後3時まで 定 10人(先着) 料 18,500円(材料費4,500円別) 持 筆記用具(10月10日のみ)、エプロン、昼食 申 9月5日(水)～26日(水)

中之島文化センター

時 9月26日(水)午前10時～11時30分 定 40人(先着)

「水戸黄門」上映会

時 9月26日(水)午前10時～11時30分 定 40人(先着)

長岡開府から400年の今年、次の100年に向けたまちづくり、人づくりの「新しい米百俵」事業を展開していきます。ゆかりの出来事などを連載で紹介していきます。

米百俵まつりのルール

毎年、10月の第1土曜日に開催する米百俵まつり。メインイベントは、総勢約5000人による越後長岡時代行列です。この行列のルーツは、かつて長岡で盛んに行われた仁合(にがわ)行列にまでさかのぼります。仁合とは仮装しながら街頭を踊り歩くもので、長岡開府300年祭でも大いに盛り上がったといわれています。昭和61(1986)年、長岡市制80周年を記念し、長岡まつりの屋行事で、仁合の流れをくむ武者行列が始まります。その後、平成14(2002)年に新たな秋の祭りとしてスタートした米百俵まつりの越後長岡時代行列に引き継がれました。長岡藩の初代藩主牧野忠成公と姫君が輿車に乗って登場したり、北越辰戦争時の長岡藩の隊列を再現して合戦シーンを演じたりと、現在では歴史に親しむイベントとして多くの人を楽しませていきます。

米百俵まつりは裏表紙へ



▲長岡開府300年祭(大正6(1917)年)での表町通りの装飾と仁和賀